

来賓挨拶



特許庁総務部長 長尾 正彦



特技懇の皆様にご挨拶をさしあげたいと思います。

ただいま、幹事の方からご紹介がありましたように、特許庁をめぐる諸情勢は非常にめまぐるしく変化しております。昨年の暮れから新しく、「イノベーションと知財政策に関する研究会」が発足し、とくに若手のみなさんの頭脳をお借りして肥塚長官のリーダーシップのもとでレポート作業が精力的に行われてまいりました。今、パブリックコメントを最終的にとっておりますが、日本語のみならず英語にして諸外国にもパブリックコメントをとって、非常にポジティブな反応が出てきております。世界ではどんどんグローバル化が進んでおり、また国内ではオープンイノ

ベーションの時代になってきたということで、キーワードがたくさん出始めているところであります。

その中では、提言が、10いくつありまして、改革をどんどん進めようということでもあります。これまで諸先輩が築き上げた立派なこの制度をさらに発展させて、世界の最先端を歩もうということ、新しい制度設計を積み上げていこうということです。加えて特許庁でも仕事のやり方とか業務などについても改革、改善を進めるため新しいビジョンを策定し、既に新しい取り組みが進みつつあるところでございます。

どうか、現場の皆様方もさらに士気高く世界の最先端を歩んでいただければと思います。そういう意味で、この特技懇というのは非常に重要な存在だと思っ

ております。年齢、それから老若男女問わずネットワークができるという点でも、非常にすばらしい存在だと思っております。あらためて感謝を申し上げたいと思います。明日からも、新しい特許庁、知財システムが築き上げられることを願いながら、皆さんと共に歩んでいきたいと思っております。本日は特技懇にお招き賜りまして誠にありがとうございました。また、本日も列席の皆様方、関係者の皆様方の引き続きのご健勝、ご発展を祈念いたしまして、祝辞とさせていただきます。

